

ちょうさ

# 湖岸でマイクロプラスチック調査



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

私たちの周りには、プラスチックでできたものがたくさんあるね。  
その中には、1回使えばすてられてしまうものもある。  
ごみになったプラスチックが、海をよごし、  
海でくらす生きものたちを苦しめることもある。  
さて、びわ湖は？



自由研究に  
ピッタリ!

参加費  
無料

ちょうさたい

# プラごみ調査隊

対象：小学3~6年生とその保護者 各会場20組(申込先着順に受付)

湖岸の砂浜におけるマイクロプラスチックの状況について調査し、プラスチックごみ問題の現状について  
楽しく学べるイベントを開催します。この調査は大津、近江八幡、彦根の3か所で実施し、  
参加した子どもたちが集まって報告しあう「報告会」も予定しています。

## 大津会場

8月6日(火)

9時~12時

びわ湖大津館  
(大津市柳が崎 5-35)

## 近江八幡会場

8月20日(火)

9時~12時

集合場所：ローカス琵琶湖  
(近江八幡市佐波江町 1-1)

## 彦根会場

9月7日(土)

9時~12時

滋賀県立大学  
(彦根市八坂町 2500)

## おしえてくれる人



滋賀県琵琶湖環境科学センター  
佐藤祐一さん

主催：しがローカル SDGs 研究会  
(一社)海と日本プロジェクト in 滋賀県  
マザーレイクゴールズ推進委員会  
びわ湖とプラスチックごみ問題について考える MLGs 協働テーブル

協力：大津市市民活動センター  
里山みんなの未来くらぶ  
滋賀県立大学廃棄物マスターズ、  
滋賀県立大学まちづくり研究室(鶏飼研究室)

後援：滋賀県  
日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト  
「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催します。

## 申し込みは裏面から





## おしえてくれる人

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

さとう ゆういち

専門研究員 佐藤祐一さん

京都大学大学院環境地球工学専攻を2003年に修了。民間の建設コンサルタントを経て2006年に琵琶湖環境科学研究センターに入庁、2018年より現職。環境システム工学を専門としており、流域スケールでの水文・水質・生態系モデリングを行う傍ら、滋賀県内において多様な主体の協働による環境保全・再生事業に従事。琵琶湖版SDGsである「マザーレイクゴールズ (MLGs)」の案内人代表も務める。

### 大津会場

8月6日(火) 9時~12時  
集合: 9時 びわ湖大津館前

会場: びわ湖大津館 1F ホール  
(大津市柳が崎 5-35)

※プラごみ研究会「Rキッズ」の子どもたち(約20名)と一緒に活動します。



大津会場への  
申込み→



### 近江八幡会場

8月20日(火) 9時~12時  
集合: 9時 ローカス琵琶湖  
(近江八幡市佐波江町 1-1)

会場: 島コミュニティセンター  
(近江八幡市島町 1671-1)

※湖岸で調査後、学習会会場(島コミュニティセンター)まで参加者ごとに車でご移動いただきます。  
(車で約10分かかります。)



近江八幡会場  
への申込み→



### 彦根会場

9月7日(土) 9時~12時  
集合: 9時 滋賀県立大学  
地域共生センター駐車場

会場: 滋賀県立大学 交流センター  
(彦根市八坂町 2500)

※湖岸で調査後、学習会会場まで徒歩でご移動(徒歩約15分)いただきます。



彦根会場への  
申込み→



## 3会場共通

**もちもの** 汗ふきタオル、水とう(飲み物)、スコップ、ぐんて、筆記用具、動きやすいくつで、ぼうしも忘れずに。

**プログラム(予定)**  
9:00 ~ 湖岸でごみひろいをした後、砂浜でマイクロプラスチック調査を開始します。  
9:45 ~ 会場(室内)へ移動します。  
~ 12:00 マイクロプラスチックの観察や記録、プラスチックごみに関する学習会を行います。  
※プログラムは、変更になる場合があります。

※雨天が予想される場合は、集合場所が「学習会の会場」となります。前日までにメールで連絡します。  
※報告会は、10月12日(土)イオンモール草津での開催を予定しています。詳細は追ってお知らせします。